

## 平成29年度 社小学校 学校関係者評価

○評価者：学校評議員

長井 英之（社地区老人クラブ代表）

竹内 正子（元社地区婦人会会長）

酒井 隆昌（学識経験者：元小学校校長）

加古智恵子（学識経験者：元小学校主幹教諭）

河村 亮一（本校PTA会長）

### 1 学校運営の状況

① 開かれた学校づくり

（学校オープン等の実施状況や情報提供、学校行事等の状況）

**3.8/4**

② 生徒指導の状況

（子どもの社会性等の育成や子ども理解、子どもの生活の様子）

**3.8/4**

③ 危機管理体制の状況（不審者対応、けがの防止、防災等）

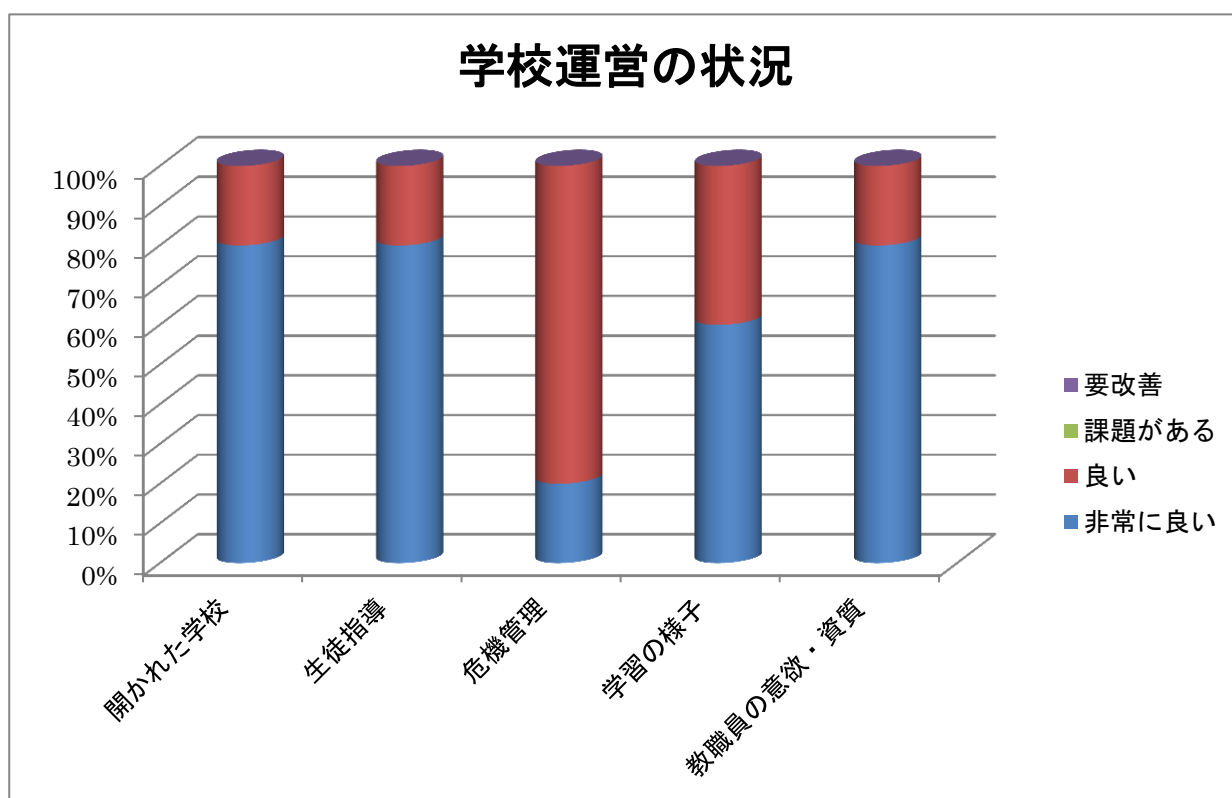
**3.2/4**

④ 子どもたちの学習の様子

**3.6/4**

⑤ 職員の授業の様子・工夫の状況、意欲・資質

**3.8/4**



#### 《学校運営等についてのコメント》

○集団行動は大変立派。運動会の集合・行進、体育館で待機する様子等々、集団行動の基本ができています。

○あいさつ・・・朝のあいさつが気持ち良い。「あいさつせえよ。」と班の子にあいさつを促す班長もいる。

○「校外児童会の約束」は、しっかり守れているように思います。例えば、ヘルメットの

着用、路上で遊ばない、等。

- 学校オープンやごりょうが丘フェスティバルは、非常に良い行事です。「私たちの行事です。」という意気が顔に出ています。(K C Vで見ました。)
  - 「ありがとう集会」は風邪で参加できなかったのですが、近所の子どもたちに当日のことを聞いていると、「来て下さったら良かったのに」と子ども。思わずうると。・・・子どもができているなと感じました。
  - 授業・学習については、児童は意欲的な取組が見られました。教師は指導に工夫が見られました。
  - 学校オープン等で参観させていただく授業では、児童が落ち着いて穏やかな表情で学習に取り組んでいる様子が伺えました。1年生での3学期の授業では、1年間の成長の様子が見られました。
  - 生徒指導の状況のところで、学校内のトラブルが非常に少なかったという点が良かったと思いました。校内全体での組織的な取組の成果が感じられます。
  - 学校オープンや様々な行事で、今年も児童の様子が見られ、少子化の世の中ですが、たくさん元気な子どもたちが“社”の地で育っていることをうれしく思いました。
  - 同じ地区の見守り隊の方が、「ありがとう集会」をととても楽しみにしておられ、毎年、児童からもらうプレゼントを大切に置いていると言われていました。とても良い交流であり、取組であると思います。
  - この1年間、学校評議員として、PTA 会長として、子を持つ親として、とてもいい環境で過ごせたことを幸せに思っております。評価で「非常にいい」と書きたい部分もあるんですが、やはり、まだまだがんばってもらいたいし、楽しく過ごせる環境を少しでも多くしてもらいたいので、よろしくお願いします。
  - 学校や学年の課題も、定期会議やケース会議等実施されることを通し、全職員が共通理解し、課題解決に向けて取り組んで下さっていることに感謝します。
  - 先生方の主体的な研修が、日々の授業に反映されています。授業に臨まれる態度に余裕が感じられます。笑顔で児童と向かい、和やかな授業が展開しています。児童の学習態度や発表内容が一段とよくなってきました。
  - 学校教育にとって、学力の定着を図ることが一番大切です。児童のつまずきをしっかりと捉え、指導の手立てを考えることが必要ですね。
  - 3年生の昔遊びにゲストティーチャーとして参加したが、司会を児童がしたり、的確な質問をしたりして、驚きました。
  - 朝読書の推進、元気に遊ぶ集団作り（先生と遊ぶ楽しさも味わわせて・・・）、時間が取れない中ですが、よろしくお願いたします。
  - マラソン大会では次の点に気を付けた方がよいと思います。
    - ①順位を告げる教師の位置・・・アウトコースにおられた方がよいと思います。
    - ②3・4コーナーに監視者が必要です。（保護者からも声が出ていました。）
    - ③運動場に入って来たとき、どこを走るのか分からない子がいました。
  - 通学旗をもった子が、班に遅れることが度々見られました。気になりました。
  - 登校時、女子のある班のあいさつが聞けないのはなぜでしょう。他の（見守り隊の）仲間も同じ意見です。班長さん次第・・・「来年は」と期待します。
- △縄跳び集会を行っているが、体力テスト等の伸びに繋がっているのか。
- ☞体力テストに顕著に表れていることはない。しかし、大縄、短縄などの技能が向上していることが分かる。

△学校評価の中に「自分（教師）の研究教科の課題解決」「児童の課題の改善」とあるが、その課題とはどんなものか。

☞教師の課題は、キャリアステージによって違う。授業の展開の仕方、資質・能力を付けるための方策など様々である。児童の課題もいろいろであるが、学校全体の傾向としては、基礎基本の定着が不十分なことである。

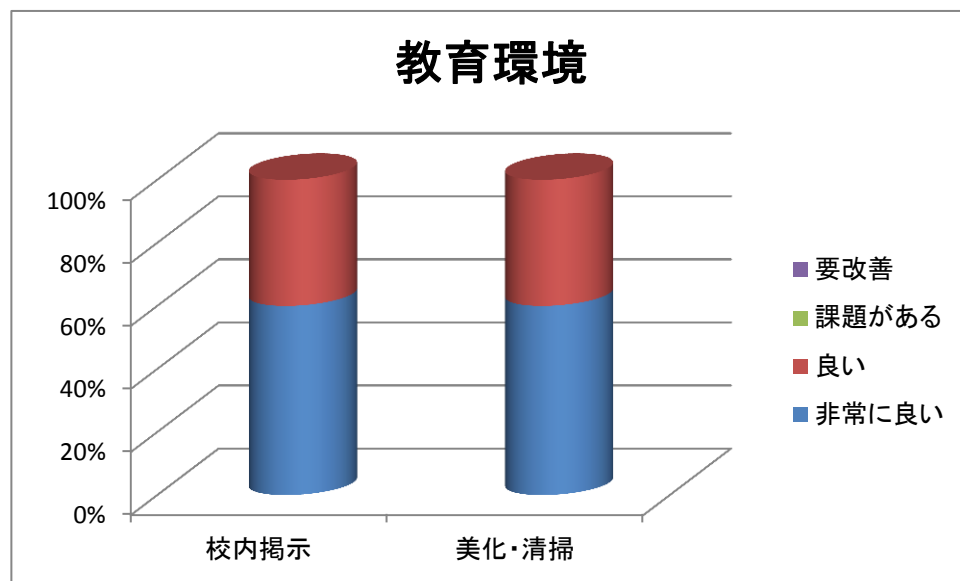
## 2 教育環境

① 内掲示等の教育環境の状況

3.6/4

② 美化・清掃

3.6/4



### 《教育環境等についてのコメント》

- 掲示（掲示物や内容）、壁面利用に大変な工夫が見られます。
- 校舎のいろいろなところに、子どもたちの絵画や詩やノートなどが掲示してあり、子どもたちの参考にも、はげみにもなると思います。
- トイレは、いつ入ってもとてもきれいです。トイレがきれいで気持ちが良いのは、子どもたちの精神的な面でも良い環境であると思います。掃除が行き届いていることと、使い方がよいという両面があると思います。このまま続けてほしいと思います。
- まだ見えない部分もありますし、一部の親にとれば満足できない部分もあると思いますが、私にとっては、とてもいい環境だったと思います。また、新6年生を持つ親としては心配はしていません。本当にありがとうございました。
- 意欲向上の掲示物が校内のあちらこちらで見かけることがあり、目にとまります。定期的に取り替えられており、児童の関心も高まっていると思います。続けてほしいです。代表として自分の物が掲示されるなる機会を与えられることが一層のはげみとなるということは言うまでもありません。できる限り、多くの児童にその機会を与えて下さることを願っています。
- もくもくそうじ、下校時の児童司会等、児童の主体的活動が育っています。良い環境は、心を育てます。日頃のご指導が成果を上げているのです。一層、美しい学校、安全な学校、楽しい学校を目指してください。